



笑顔と夢を
未来につなぐまち

広報おけと
KETO

2022 **12**



11/3 町民文化祭



文化奨励賞を受賞したNPO法人置戸ぼっぼ絵画館



秋田なまはげ太鼓の会



OK☆ハーモニー



フラサークル置戸

10/22 置戸中学校学校祭



演劇「すてきな国のアリス」

10/29 こどもセンターどんぐり発表会



可愛く元気に踊るぱんだ組(4歳児)

ひとまち おけと

11/6 秋岡コレクション企画展 ワークショップ



こだわりのペーパーナイフ作りに挑戦



Oketo
10.26
TOPICS



置戸中学校1年生、森づくりを学ぶ

晴天の下、置戸中学校1年生14人が拓殖の民有林で置戸町林業グループ主催の植樹体験を行いました。生徒は植樹方法の説明を受けた後、土の中にある石などに悪戦苦闘しながら鍬をふるい、林業グループなどのスタッフと一緒に約800本のカラマツの苗木を植えました。鍬を使うのも初めての生徒たちは、植樹の大変さを通して、森林の役割や林業の大切さを学びました。

Oketo
10.30
TOPICS



ぽっぽ絵画館開館10周年を祝う

NPO法人置戸ぽっぽ絵画館10周年記念式典がコミュニティホール「ぽっぽ」で開かれ、関係者など約30人が参加しました。式典では、細川昭夫理事長より「4つの奇跡が重なって絵画館が誕生しました。10周年を飛躍としてさらなる発展を目指していきたい」と挨拶。その後、女優の山口晶代さんによる一人語りやOK☆ハーモニーの演奏などもあり、節目を祝いました。

Oketo
11.6
TOPICS



置戸消防団・置戸支署合同訓練

置戸消防団と置戸支署の合同訓練が、消防庁舎及び郷土資料館周辺で行われました。消防団員と職員合わせて74人は、消防車両の赤色灯を点灯させて訓練場所に集結。消防庁舎などに向かって連携して放水し、近隣の建物への延焼を防ぐ火災出動訓練を行いました。これからの冬の季節、ストーブなど火の元にはくれぐれも注意しましょう。

Oketo
11.13
TOPICS



秋田小地域ネットワークで防災学習会

防災の意識を高める取り組みとして、秋田小地域ネットワークで防災学習会が開かれ25人が参加しました。学習会では、町防災担当より町が出す避難基準情報の変更点や大規模停電時の対処方法などの説明を受けた後、段ボールベットの作成体験も行われ、防災に対する知識を学びました。その後、避難訓練や屋外で水を入れた消火器の操作方法などを学ぶ初期消火訓練も行いました。

まちづくり移動町長室 を開催しました



11月4日から15日にかけて、まちづくり移動町長室が各地区4会場で開催されました。

各地区のテーマや課題について、それぞれ現状を説明した後、町長の考えや思いを伝え、懇談が始まりました。「おけとのまちづくり」について、町長と直接意見交換を行い、4地区からは多くのご意見やご提案をいただきましたので、主な内容についてご紹介します。

(掲載スペースの都合上、内容を抜粋して掲載しています。また、置戸地区、勝山地区については次月号でお知らせします。)

境野地区

●11月4日(金) ●境野公民館 ●参加者18人

【テーマ】空き家対策と空き家周辺の環境整備について

まずはじめに、地域の方から境野親交町内にある空き家の現状についてお話がありました。一部の空き家では、強風時に近隣の民家にトタンが飛来するのではないかと心配する建物があることや空き地では、夏場には草が伸び放題で放置されている状況があり、町内会として、このような空き家を放置できないため所有者へ手紙を送っているが、いまだに連絡がなく、これ以上の取り組みができないとの切実な説明がされました。

町から空き家の有効活用等のため、空き家の情報登録制度(空き家バンク)のほか、空き家の改修や取得、解体費に対しての助成制度の説明があり、空き家周辺の環境整備は空き地の所有者に管理を行うように指導することはできるものの、あくまでも土地の管理権限は所有者にあり、所有者の理解がなければ改善が進まない場合も多々あることの話があり、懇談が始まりました。

町長

個人の所有でも既にお亡くなりになっているケースや法人が所有している建物もあり、町も悩みながら、取り組んでいるところです。境野親交町内で所有者に対し、手紙を送られたという取り組みは、解決の糸口につながる本当に素晴らしい対応だと思います。すぐに解決できないケースもあるかもしれませんが、新年度に空き家の実態調査・対策計画策定を予定しており、これからも皆さんと良い方法を考えながら進めていきたいと思っています。

参加者

町内会で手紙を出してもなんの返答もないため、行政から通知してもらうことはできないのでしょうか。この問題は、役場からも粘り強く指導しないと解決しないと思います。

副町長

人に被害を与える恐れがある危険空き家については、町から現状を通知しております。町に対し

ても反応がないケースもありますが、今後も状況を見ながら対応してまいります。

【テーマ】雨水対策について

平成28年、29年に大雨により境野市街の道道で冠水等の被害が発生し、測量結果をもとに国や北海道へ改修等を要望してきましたが、協議が不調となり抜本的な対策が進められずにいる経過説明があり、町ができることから対策を講じるためにも、抜本的な雨水対策の計画を作成するため、地域の皆さんのご意見や考えをお聞きしました。

町長

今年1時間で60mmを超えるような降雨が境野地区であり、以前から常呂川取水口の樋門を広げるなどの要望も不調で終わっております。地域住民と国や北海道、町も交えて一緒の場で話をしていかなければ進まない状況が続いています。地域の皆さんと意見交換をさせていただく場を持ち、一歩前に進めるような方向を見つけていきたいと考えています。

参加者

毎年被害を受けているところもあり、この問題は今に始まったことではなく、町はもっと力を入れ、できるだけ早く対応していかなければ境野地区に住む人がいなくなってしまう。

副町長

話し合いの時期はできれば今年度中に開催し、その内容をもとに来年度事業の計画など可能な限り早く取り組んでいきたいと思ひます。

秋田地区

●11月10日(木) ●秋田地区住民センター ●参加者14人

【テーマ】コロナに負けるな！秋田地区らしい地域づくりを目指して～人と人とのつながりから生まれる地域の活力～

参加者からはコロナ禍における人と人とのつながりやこれからのまちづくりへの思いが語られました。

町長

秋田地区は人口が1番少ない地域ではありますが、置戸町の中でも高齢化率が1番低く活力がある地域のひとつです。また、基盤である農業の後継者不足を考えて法人化を図ろうという動きもあり、地域や農地を守っていこうという地区だと思ひます。いろいろな人が交流することがその地域の活力となり、新しい住民が入ってくることも大き

な弾みになると思ひていますが、その際には住居問題が大きな要素となることから、都会などからの移住希望者があれば積極的な支援や住宅整備を図っていきたく思ひます。

参加者

コロナ禍で町や地域ではイベントや行事などが中止となり、人と人とのつながりが希薄になっています。町としてこれからの対応や進め方について町長の考えをお聞かせください。

町長

町が元気になるためにも、多くの人が集い、話し合い、さまざまなことを決めていく、その中でつながりを強くしていくことが大事だと思ひます。

コロナ禍で学んできたことを糧にこれからも感染予防を図りながら行事などを開催し、少しずつ以前の生活が戻るように取り組んでいきたく思ひます。

参加者

置戸町には酪農の法人はありませんが、後継者不足で酪農を続けていけなくなる酪農家も今後予想されます。酪農家から法人化について要望があれば応援してほしいと思ひます。

町長

法人を設立して大規模化を図ることや個人経営で後継者を見つけて続けていくこと、どちらも大事なことだと思ひます。農業関係者の意見も聞き、国の農業施策なども活用して本町の基盤産業である農業を守っていきたく思ひます。

参加者

置戸町の知名度をあげるために情報発信は、継続していくことが大事だと思ひます。ツイッターやインスタグラムなどいろいろなジャンルがあるなかで、町職員も含めて若い人独自の感性で置戸町のいいところを発信してもらいたいです。

町長

現在は地域おこし協力隊員がSNSを活用して(おけばんぱくんのツイッターや隊員のインスタグラムなど)町の情報発信に取り組み、フォロワー数も増えてきております。情報発信は、どんな方法であれ、取り組むことからはじめないと結果は出てこないと思ひます。

町ではテレビを活用した情報発信として地デジ広報も行っています。今後もいろいろなツールを活用して町のPRを続けていきたく思ひます。

■お問い合わせ

企画財政課地域情報係 (☎52-3312)

民生委員・児童委員を紹介します

民生委員・児童委員は、暮らしのなかで悩みや問題が生じた方に、同じ地域の住民という立場で相談に乗り、解決する機関へとつなぐパイプ役です。厚生労働大臣から12月に委嘱され、3年間15名の方が活動します。民生委員は児童委員を兼任、また、児童に関することを専門的に担当する主任児童委員が2名います。民生委員には守秘義務があり、相談内容を他人に漏らすことはありません。生活にお困りの方、身近な支援者の少ない高齢の方、障がいのある方、子育てに不安のある方など、さまざまな「困りごと」を持つ方の相談に乗りますのでご連絡ください。

委員の氏名、連絡先、担当地区を紹介します。（敬称略、五十音順）



飯田 優子
協生・宮下



植野 トミ子
中央・本町・西町



柏崎 三枝子
若松・新光



坂本 了一
豊住・北光・
北光第二



澤田 涼子
勝山新生・勝山公新



篠原 亜実
全町
(主任児童委員)



隅田 浩二
境野中央・境野旭・
境野親交



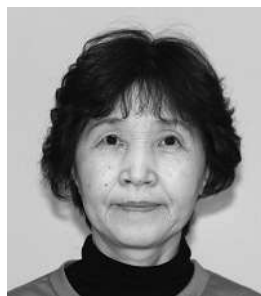
十河 一義
安住・勝山第一・
常元



高橋 美智子
緑栄・栄第一・心和



仁木 宏
拓殖・林友



松田 千賀
境野・川南・常盤



道原 円佳
全町
(主任児童委員)



山崎 哲子
若木



由利 真弓
秋田



渡辺 実
拓殖第二・拓実・
中里

事務局 地域福祉センター社会福祉係 ☎52-3333

地域おこし協力隊活動日誌

＼こんにちば～ん／

地域おこし協力隊員 田村 大輔

「いつも元気なおけばんぱくん」の担当をしています田村です。

おかげさまで先月の11月1日をもって、置戸町着任から1年を迎えました。

思った以上にあっという間の1年で、残り2年の間に何が出来るか、そろそろ考える時にきているなと思っております。

さて、私の最近の業務を端的に言えば『置戸町観光協会企画営業開発広報担当 地域おこし協力隊田村大輔』となるのでしょうか。

具体的には、おけばんぱくんツイッター発信のお手伝いや、おけばんぱくんのキーホルダー、佐々木十美さん監修の置戸特産品であるヤーコ

ンを使った「おけばんぱくんうどん」などの開発を行い、なんとか販売までこぎつけることができました。

これからもいろいろな商品を作り、販売なども行っていければと思っておりますので、町民の皆さんも商品を目にしましたら、手に取っていただき、お土産などとしてお買い上げいただくと大変嬉しく思います。

下にありますQRコード。こちらからおけばんぱくんのLINEスタンプの購入もできますので、お買い上げいただくとおけばんぱくんも喜ぶと思います。

よろしくお願いいたします。



おけばんぱくんのツイッター、LINEスタンプはこちらから



(ツイッター)



(LINEスタンプ)



まちづくり月記

置戸町長 深川 正美

今年一年を振り返ると五月は連日三十度を超え、局地的な大雨・降雹で道路の冠水や農業被害などが本町でも発生しました。世界では、ヨーロッパの干ばつや中国の大水害など、地球温暖化による異常気象に加えて、ウクライナ紛争の影響による食料危機への懸念が広がり、日本でも「食料安全保障」という新語が注目されるなどエネルギー問題と合わせ物価上昇等、将来への不安が大きくなっています。

自然豊かな本町は、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素は排出量よりも吸収量の方が上回っておりますが、世界各国が脱炭素社会に生まれ変わらなければ、気温上昇を食い止めることができません。農地を守り、適正な森林管理を行うとともに省エネや自然エネルギーなどの活用が急務となっております。新年は防災・減災対策とともに、この問題に着手しなければならぬと思っております。

先月、「皆既月食」が全国各地で観測されました。他の惑星食との同時発生は稀で、前回観測された戦国時代で武将達も眺めていたであろう神秘的な月を見ながら置戸の有史上で活躍した高名な花井卓蔵弁護士の「何人も見る権利あり今日の月」の名吟が頭に浮かびました。町長就任後、二年半が経過しましたが、未来の人々がこの月を見ることができるよう、初志貫徹、立ち止まることなく一歩一歩町政を進めてまいります。

師走を迎え、これから一段と寒くなります。コロナやインフルエンザなど、引き続き予防に努めていただきたいと思います。

わが家の アイドル



つむぎ ●4歳10カ月
浅井 紬希ちゃん ●心和
 浅井 真人さん・愛美さんのお子さん

プリキュアのプレシャスになりたい!

「こんにちは」と笑顔で元気にあいさつをしてくれた紬希ちゃん。最近はお菓子づくりに興味があり、ハロウィンにはお母さんと一緒にパンプキンパイを作ったそうです。好きな食べ物は、イチゴやお母さんお手製のオムライス。苦手なピーマンやなすびも食べられるようになりました。最近うれしかったことは、新しいお家ができること。プリキュアが大好きで、お家での遊びは、プリキュアごっこ。大きくなったらプリキュアのプレシャスになりたいそうです。そんな紬希ちゃんのことをお母さんは「いろいろなことに挑戦して、元気に楽しく育ててほしいです」と、愛娘の成長を温かく見守っています。

今晚つくれる! 食改さんの かんたんレシピ



カレーピラフ

1人分 475kcal 食塩相当量 1.3g

●**材料(4人分)**
 米2~3合、ウインナー4本、人参1/2本、玉ねぎ1/2個、ピーマン2個、コーン缶約70g、調味料(コンソメ顆粒小さじ1、カレー粉大さじ1、白ワイン30cc、粉チーズ大さじ1弱、醤油小さじ1、塩・コショウ各少々)、バター10g

●**作り方**.....
①人参、玉ねぎ、ピーマンはみじん切り、ウインナーは小口切り、コーンは水気を切る。
②といだお米に、調味料と**①**のピーマン以外の材料を全て加えて混ぜ合わせる。
③水を炊飯器の2~3合のラインまで入れて炊飯スタート。
④炊き上がったごはんにバターを入れて混ぜる。ピーマンは電子レンジで加熱してから混ぜ込み、できあがり。
 ●**ワンポイント**.....
 ウインナーをエビなどに変えても美味しいです。ピーマンを後に入れることで彩りもきれいです。

公共施設等の年末年始休業日のお知らせ

役場・地域福祉センター・教育委員会

12月30日(金)~1月4日(水)

各施設の休館日

- 中央公民館・各地区公民館
12月30日(金)~1月4日(水)
- ファミリースポーツセンター
12月30日(金)~1月4日(水)
- げんき
12月28日(水)~1月5日(木)
- 図書館
12月29日(木)~1月4日(水)
- オケクラフトセンター森林工芸館
12月30日(金)~1月3日(火)

地域巡回バス運行業務の休業

12月30日(金)~1月4日(水)

ごみ収集業務の休業

12月30日(金)~1月4日(水)

一般廃棄物最終処分場の休業日

(粗大ゴミの自己搬入受け入れ)
 12月31日(土)~1月4日(水)
 *許可証の交付は12月29日(木)まで

その他

婚姻届、死亡届出事務については、閉庁日に関わらずお取り扱いします。
 <町民生活課長(自宅) ☎52-3366>



介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査にご協力をお願いします

今月の担当

高齢者福祉係長
尾崎 順

地域福祉センター高齢者福祉係
(☎52-3333)

日本では、今後も高齢者人口の増加が続き、令和24年には総人口・現役世代人口が減少するなかで、高齢者数がピークを迎えると予想されています。これは都市部の傾向であり、地方では令和24年よりも前に高齢者人口のピークを過ぎ、減少に転じると推計されています。

■置戸町の高齢化率

平成30年をピークとして既に高齢者数は減少し始め、国が示すよりも早く高齢化の進展がみられています。

65歳以上の人口が減少傾向で推移しますが、64歳以下の人口減少も進むことから、総人口に占める高齢者の割合は高く、北海道が公表している令和4年1月1日現在の高齢化率では44.6%となっており、北海道の32.5%、全国の29.0%を大きく上回り、今後も上昇を続けると推測されています。

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査とは

町に暮らす高齢者の「からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康」などに関する項目を調査することで地域における生活状況や課題などの実態を把握することができます。

この調査は3年に1度、厚生労働省が例示する調査票を活用して全国の多くの市町村で行われており、置戸町における経年比較のほか、他の市町村との比較やさまざまな情報と組み合わせた分析を行うことができます。

調査結果については、報告書にまとめ置戸町の実態に即した必要なサービスやサービス提供体制の確保などを検討するための基礎資料として、令和5年度に策定予定の「高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」に反映することとしています。

《1月頃に「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を行います》

調査対象者は、介護保険の要介護認定を受けていない町内在住の65歳以上の方となります。(ただし、要支援認定者は対象者に含みます)

より地域の実態に即した高齢者施策や介護保険サービスの展開を図るために重要な調査となりますので、調査票がお手元に届いた際には趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

■お問い合わせ 地域福祉センター高齢者福祉係 (☎ 52-3333)

マイナンバーカードの申請はお早めに!

マイナポイント第2弾では、最大2万円相当のマイナポイントを受け取ることができます。マイナポイントを受け取るために必要なマイナンバーカードの申請期限は、令和4年12月31日までです。

この機会に、マイナンバーカードとお得なマイナポイントの取得をおすすめします。

最大 20,000円 相当のポイント付与

マイナンバーカードの
新規取得で
最大 5,000円分



健康保険証としての
利用申し込みで
7,500円分



公金受取口座の
登録で
7,500円分

■お問い合わせ カードの申請・交付 町民生活課住民年金係 (☎ 52-3315)
マイナポイント 企画財政課DX推進係 (☎ 52-3312)

あゝの頃

—写真で語る
おけと—

今回は置戸の歴史を語るうえでは欠かせない、
森林鉄道についてご紹介します



置戸の木材輸送を支えた
酒井工作所製ジーゼルカー

昔から山仕事といえは冬の仕事で
あり多くの農家さんは、夏は農作業
に従事し、冬は山に入って小遣い稼
ぎをするという半農半林の生活を送
っていました。

面積の8割を森林に覆われた置戸
は木材の輸送量も相応に多く、初め
は川の流れや馬を利用して木を運ん
でいましたが、大正10(1921)
年より森林鉄道と呼ばれる汽車が走
り始めました。林業機械化の発端と
もいえる機関車による木材輸送は爾
来40年程続き、置戸の山から運び出
された木材は約92万立方メートル、
走行距離にして約47万キロメートル
(地球11周分)と推定されています。

写真のジーゼルカーはそれまでの
蒸気機関車から移行し始めたころの
もので、昭和30(1955)年前後
と思われます。大量の丸太は洞爺丸
台風によってでた風倒木を処理した
ものでしょうか。このように大量の
丸太が積まれた貨車をけん引する姿
は、当時の置戸の風物詩とも呼べる
光景でした。

(参考:『置戸町史 上巻』)

喜びと悲しみ(敬称略)

■お悔やみ申し上げます

○角山 隆視	83歳	新光	9/30	○太田 美代	91歳	常楽園	10/17
○笠原 サタミ	86歳	緑清園	10/5	○柴田 孝司	68歳	心和	10/23
○鎌田 康夫	75歳	西町	10/10	○中田 をよ	97歳	勝山第一	10/23
○佐藤 昭子	95歳	常楽園	10/10	○吉田 敏秋	74歳	心和	10/24
○森 テイ子	93歳	常楽園	10/14	○菅野 トヨ	95歳	新光	10/27
○白木 稔	82歳	西町	10/16	○大槻 喜美子	88歳	常楽園	10/28

人の動き

●世帯数	1,396世帯(-12世帯)
●人 □	2,691人(-16人)
●男1,249人(-7人) 女1,442人(-9人)	

令和4年10月31日現在()内は9月末比

置戸の情報をインターネットでチェック!



人と、木と、おけと



ホームページ



YouTube

■今月号の表紙: ぞう組(5歳児) どんぐり最後の発表会。みんなで素敵な歌声を届けました。